

千葉県スポーツ振興基金趣意書

近年における価値観やライフスタイルの多様化、余暇時間の増大、本格的な少子・高齢社会の到来、グローバル化や情報化の進展など社会環境が大きく変化する中、県民の間にはスポーツ・レクリエーションへの関心や参加志向が高まり、いつでも、どこでも、だれでもが生涯を通し、年齢や目的に応じて、生活文化としてのスポーツ活動に気軽に参加できる諸条件の整備が求められています。

御承知のとおりスポーツ・レクリエーション活動は、活動そのものを楽しむことができるほか、青少年の健全育成や地域おこしに役立つとともに、心身の健康や生きがい、仲間づくりなど、生活の豊かさを享受する上で欠くことのできないものとなっています。

このような中、平成二十二年には「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」が本県で開催される運びになっていくことは、多くの県民がスポーツ活動への参加意欲をさらに高めるための良い機会になると思います。

スポーツの振興については、従来から行政とスポーツ団体との連携のもとに諸施策が展開されてまいりましたが、高度化・多様化する県民のスポーツニーズに対応するため、より積極的な振興方策を推進することが必要となつてまいりました。

千葉県スポーツ振興基金は、平成六年に県の出捐金を基に、市町村や民間の協力を得て造成し、その運用益による安定した継続的な財源の下に、スポーツ団体や市町村が行う活動について資金的な援助を行っていかうとするもので、この基金の目標額を二十億円と設定しております。

県民の期待と時代の要請に応える各種のスポーツ振興事業を支援していく上で極めて重要な役割を果たすことになる千葉県スポーツ振興基金の造成について、広く県民の皆様の深い御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成二十一年五月十五日

千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会会長

千葉県知事 森田健作